

交流通信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 ☎23局3507

ラオス・サイタニー郡との交流

2005年愛・地球博以降、田原市は、フレンドシップ相手国であったラオスのサイタニー郡と「ラオスの人づくり」を目的とした交流を続けています。

●農業研修事業

6月5日(木)、ラオス・サイタニー郡から、ブンガン・ケオサイヤフォンさん(通称プーさん)とコンカビザイ・カンペットさん(通称ペットさん)が田原市にやってきました。サイタニー郡では農林事務所に勤務しているお二人。今回の来日の目的は、田原市の農業、特にバラの栽培方法を学ぶことです。現在、大草町の農家などで、農業研修を受けています。

この「農業研修事業」は、JICA(国際協力機構)の草の根技術協力事業として田原市が委託をうけ、平成19年から平成21年までの3年間にわたり実施しているものです。



「ラオス・サイタニー郡では現在、昨年の研修生たちが、バラ栽培を開始するための準備を着々と進めています。私たちも早く本国での栽培に携わりたいですね。そのために、毎日一生懸命研修を受けています。」と話すプーさん(左)とペットさん(右)。田原市には10月まで滞在し、帰国後には早速バラ栽培に携わっていくとのこと。ラオスにたくさんのバラを咲かせられるよう、頑張ってもらいたいですね!

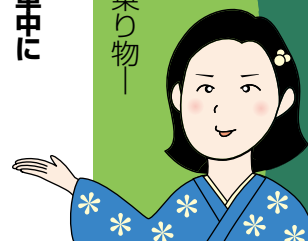
忍びよる巨大地震

のりりん

防災まめ知識

39

地震だ! そのときどうする? ⑦屋外—乗り物—



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。このシリーズは今回が最終回です。

●乗り物に乗っているとき

そのとき
どうする!?

電車(在来線)乗車中に
地震が発生したら…

電車は、揺れを感じると自動的に停車する場合があります。立っているときは、将棋倒しや荷物棚からの落下物に注意し、つり革や手すりにしっかりつかまりましょう。座席に座っているときは、カバンなどで頭を保護し、体を前かがみにして足をふんばります。電車が止まっても、勝手に非常コックを開けて車外に出たり、窓から飛び降りたりしないでください。係員の指示に従い、落ち着いて行動しましょう。

そのとき
どうする!?

新幹線乗車中に
地震が発生したら…

走行中の新幹線は、地震を感じると急ブレーキがかかるため、大きな衝撃を受けることがあります。すぐに前かがみになって、落下物から頭を守りましょう。もし立っていたら、座席の取っ手や手すりをしっかりとつかむか、しやがみこんで座席などにしがみついでください。

地震からの身の守り方を、7回にわたって紹介してきましたが、さまざまな場面がありました。

どのようなときでも、まずは「自分の命を守ること」を第一に。そして、「行動はあわてず、落ち着いて」を心がけ、いつ発生するかわからない地震に備えておきましょう。



▼防災対策室 ☎23局3548